

1. 本講義の目的

院内研修と自部署の教育計画を立案している教育委員、プリセプティ・プリセプター・研修医などを支えるアソシエイト教育担当者、それぞれに期待される人材育成能力の向上に向けて、研修プログラムの効果評価を適切におこなう方法とその考え方を学ぶ。

2. 本講義の前提テストと事前テスト

研修開始前に前提テストと事前テストを実施する。前提テストに合格しかつ事前テストに不合格になった人を受講生として受け入れる。前提テスト不合格者と、事前テスト合格者はそれぞれ聴講を許可する。

3. 予習課題

1) 事前に以下の文献を読む。(1)と(2)は必須課題である。必ず読むこと。(3)は任意だが名著なので一読を勧める。

(1) 1分で <http://www.elc.or.jp/keyword/detail/id=82>

(2) 5分で <http://corplearning.biz/kirkpatrick> または
<http://biz.cyber-u.ac.jp/blog/2183/>

(3) 書籍

「研修設計マニュアル」 鈴木克明著 北大路書房 2015
p11-14, p16-21, p206-212 <http://amzn.to/2qPpUMO>

2) 上記の文献を読んだのち、以下の A と B の片方または両方の課題を作成し、提出する (任意)。

A. 過去に自分が携わった研修について、「評価方法」という観点からその特徴を140文字前後で記述する。その際には以下を参考としてもよい。

(1) その評価方法の利点／欠点。

(2) その評価方法にはどのような有用性があったか。その評価方法の限界は何か？

(3) その評価方法の改善点はどこか？

(4) 評価の優劣によってその後の研修の内容に変更があったか。

(5) 研修会が高評価だった講師／低評価だった講師それぞれへの論功行賞はあったか？

B. 研修の評価方法・評価基準で困っていることについて (字数自由)。

A, B, ともに、提出は任意。ただし提出された場合には出来るだけ講習内容に反映させる。その際、受講生同士で回覧するので、適宜匿名化を施しておくこと。当日の講習会は、この課題3と課題4の提出が完了した方を主な対象とします。完了しなかった方は、グループワークには参加出来ませんが、聴講参加は可能とします。

4. 予習課題の提出方法

1) 課題は、電子メールで送信する。

宛先：mail2007@blsjapan.com

題名：メールの題名は日付:課題提出:自分の名前 とする。

題名の例) 2017年9月21日に講習会が実施される場合で自分の名前が「教育太郎」の場合は 20170921:課題提出:教育太郎
となる。

方法：本文に直接記入する。添付ファイルは使わないこと。なお本文の最初に、自分の名前と施設の名前と所属を明記すること。

2) 提出締切日：講座開始日の一週間前の同じ曜日の朝8時

例) 10月10日(月)に講座が始まる場合は、10月3日(月)の朝8時

なお、提出方法、締め切り日などについて担当者から別の指示があった場合にはその指示に従って下さい。

青木太郎